

ごみ組成分析調査の実施概要

1. 調査目的

生活系ごみを対象に、組成分析調査を行い、本市におけるごみ排出の実態を明らかにするとともに、前計画の施策の評価と今後の施策検討等を行うための参考資料とします。

2. 調査概要

(1) 調査方法

生活系可燃ごみ2検体、生活系不燃ごみ2検体、生活系プラごみ2検体を収集し、調査・分析を行います。ごみ組成分析調査の実施フローを2頁「図 1 ごみ組成分析調査の実施フロー」に示します。

組成分析調査項目については、5頁「表 2 組成分析調査項目」のとおりです。

(2) 調査対象

表 1 調査対象

	項目	場所	特徴	調査日
①	可燃ごみ	日野本町	住宅地	5/25 (月)
②	可燃ごみ	高幡	高幡駅周辺	5/26 (火)
③	不燃ごみ	南平	住宅地	5/25 (月)
④	不燃ごみ	多摩平	豊田駅周辺	5/27 (水)
⑤	プラごみ	百草	住宅地	5/26 (火)
⑥	プラごみ	栄町	住宅地	5/27 (水)

3. 期待される成果

- ・市民の分別協力状況の把握
- ・潜在的な資源物量の推計よりごみ減量の可能性を考察
- ・新たな施策展開の検討（食品ロス、紙おむつ、生ごみ・剪定枝等）

4. スケジュール（案）

5月25日（月）～5月27日（水） 分析調査（計3日間）

～7月末 集計・解析

8月上旬 第3回協議会にて調査結果報告

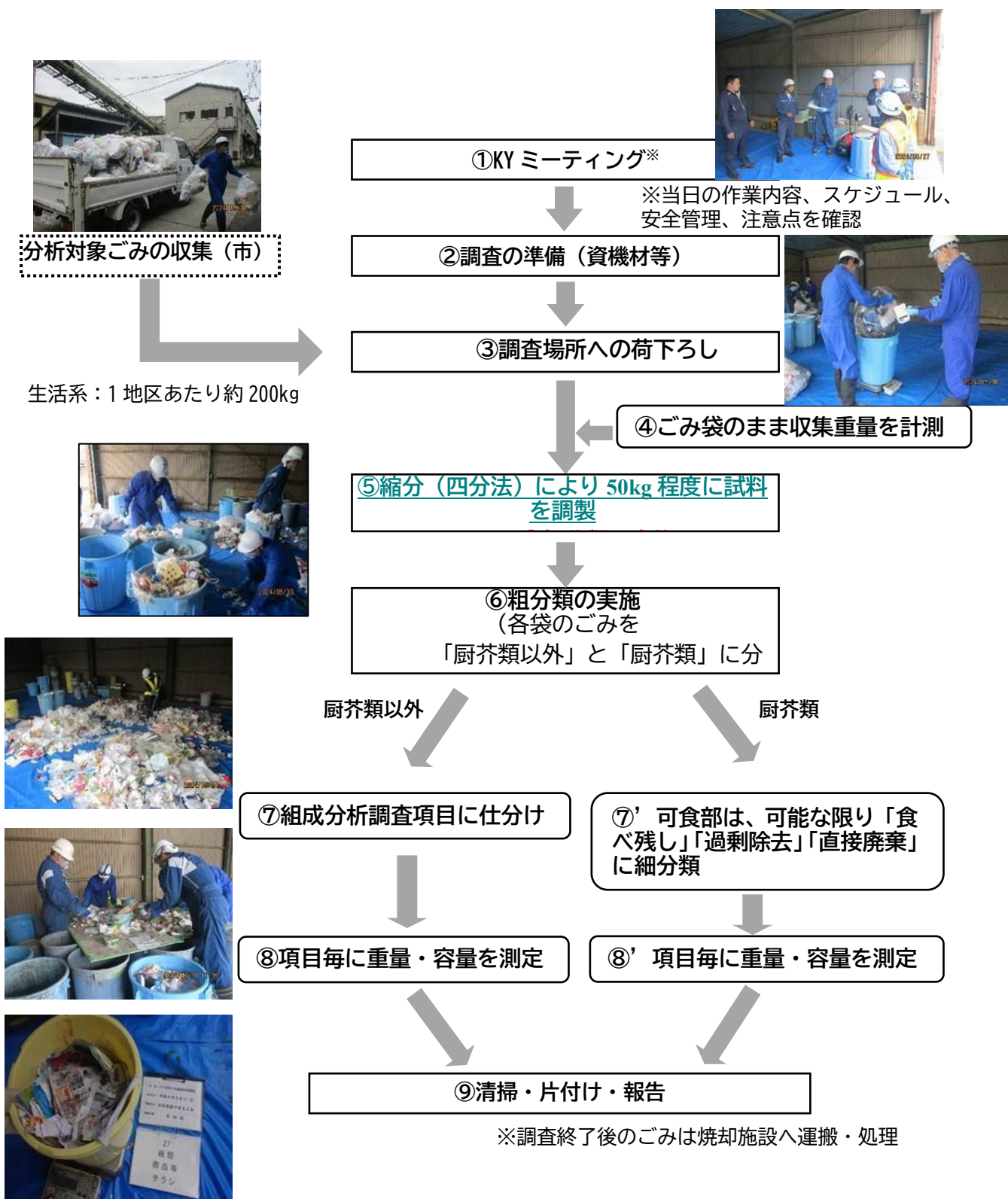
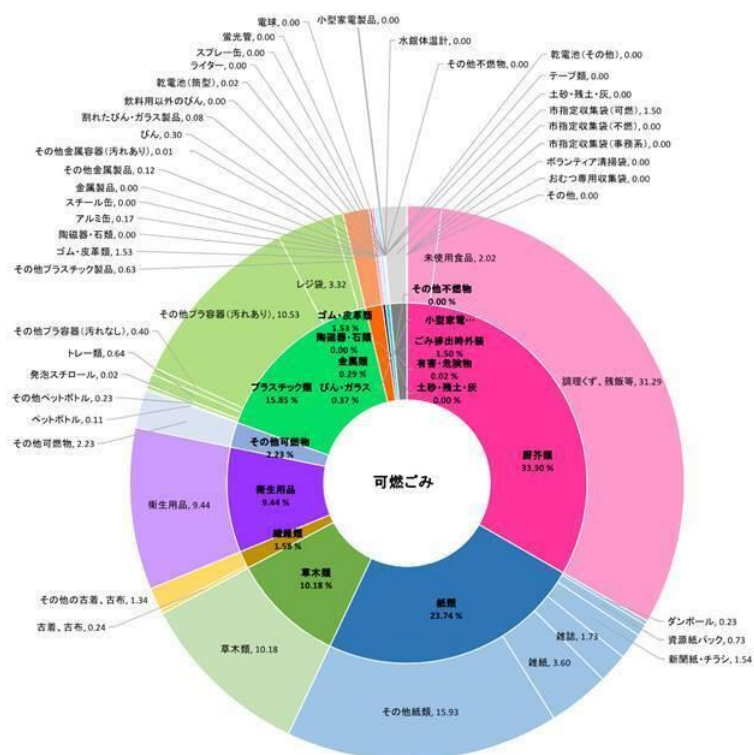


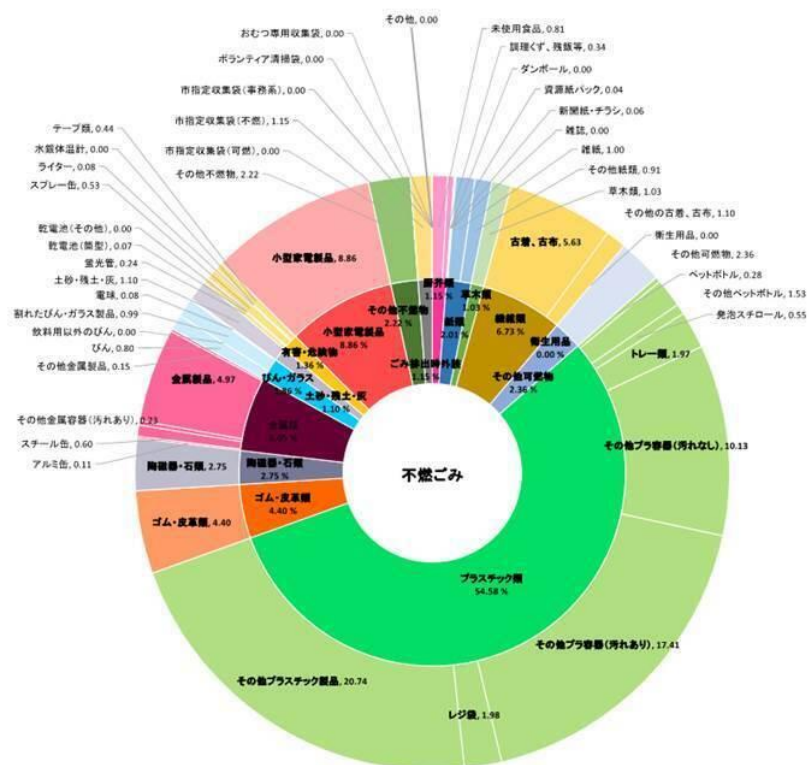
図 1 ごみ組成分析調査の実施フロー

【参考１】前計画におけるごみ組成分析調査結果



出典：第3次日野市ごみゼロプラン

図 2 生活系可燃ごみの組成分析調査結果



出典：第3次日野市ごみゼロプラン

図 3 生活系不燃ごみの組成分析調査結果

【参考2】食品ロスとは



※ 「過剰除去」も概念上食品ロスに含まれるが、過剰であるかの判断が主観に依るところが大きいため、調理くずに含める場合もある。

※ 資料：家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開袋調査手順書（令和元年5月版）（環境省）

図 4 食品ロスの定義

【参考3】組成分析調査項目

表 2 組成分析調査項目

大分類	小分類
厨芥類	食べ残し
	過剰除去
	直接廃棄
	調理くず
紙類	ダンボール
	資源紙パック
	新聞紙・チラシ
	雑誌
	雑紙
	その他
草木類	草木類
繊維類	古着、古布
	その他
衛生用品	紙おむつ
	ペット用おむつ
	その他
プラスチック類	ペットボトル
	その他ペットボトル
	発砲スチロール
	トレー類
	その他プラ容器（汚れなし）
	その他プラ容器（汚れあり）
	レジ袋・ビニール袋
	プラスチック製品（硬質）
ゴム・皮革類	ゴム・皮革類
陶磁器類	陶磁器類
かん	アルミ缶
	スチール缶
びん・ガラス	びん
	ガラス製品
有害・危険物	蛍光管
	乾電池
	充電式電池、ボタン電池
	モバイルバッテリー
	水銀体温計
	ライター
	電子タバコ
	スプレー缶
	テープ類
	その他
小型家電・金属類	小型家電製品
	金属類
収集袋	収集袋
土砂・残土・灰	土砂・残土・灰
その他	その他